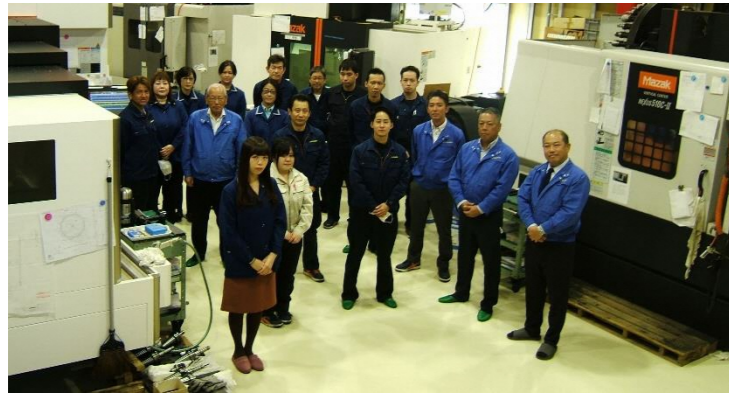


佐竹特殊鋼株式会社



会社概要

住所 : 立川市一番町4-65-32
事業概要 : 金属材料販売
 金属加工品製造販売
従業員数 : 16名 (男性13名・女性3名)

製造業もジェンダー平等の時代 男女ともに「働きたい！」と思える環境づくりが重要

今後の会社経営にとって、女性活躍は欠かせないという佐竹社長の考えのもと、女性の積極採用に取り組んでいます。2020年1月には製造部門にも女性が入社し、工作機械を使った仕事で活躍しています。女性の視点が加わることで、男性では気付かなかった課題も見え、より良い職場作りに役立っています。今後も女性の活躍を推進していくため、女性のための休憩室、更衣室、トイレを完備しました。床の色や壁紙などは女性社員が選び、明るく居心地の良い環境が出来ました。

工場のイメージを覆す床や壁の色を採用(写真参照)し、男性はもちろん女性にも「こんな環境で働いてみたい」と思われる工場づくりを行っています。VR(バーチャルリアリティ)ゴーグルやYouTubeを使って職場見学が出来る仕組みを作り、会社訪問をせずに会社の様子が分かるようにするなどコロナ時代に対応する新しい取り組みも積極的に進めています。自社のアピールポイントについて職場の皆で意見を出し合うなどの時間を作り、働き方改革にワンチームで取り組んでいます。



佐竹社長



明るい工場内

社員の声

女性専用の休憩室は、観葉植物があり、窓も多く明るい雰囲気です。残業も少なくプライベートの時間はショッピングをするなど充実しています。入社してすぐ入院をすることがありましたが、業務内容を共有し合っており、同じ課の方がサポートしてくれました。環境問題の取り組みにも力を入れている点も魅力で、長く働き続けたいと感じています。



渡辺さん



光差し込む女性休憩室

取り組みや制度

- 工場内の床、壁の色を明るくし清潔で働きやすい職場に
- 女性のための休憩室、更衣室、トイレを設置
- SDGsのジェンダー平等を目標に全社員に意識付け
- BBQ、ボーリング大会を実施しコミュニケーション促進
- VR・YouTubeで職場見学が可能

ワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を募集しています！

ワーク・ライフ・バランス推進認定事業所には認定証を交付し、取り組みについて市ホームページや市広報等で広く紹介しています。「仕事と家庭の両立を推進し、男女共に働きやすい職場」を目指す職場の皆さん、ぜひご応募ください。

お問合せ先 立川市総合政策部男女平等参画課 TEL:042-528-6801



立川市総合政策部男女平等参画課
〒190-012 東京都立川市曙町2-36-2 立川市女性総合センター内
TEL:042-528-6801 FAX:042-528-6805
<https://www.city.tachikawa.lg.jp>

令和2年度 立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定

WORK-LIFE-BALANCE TACHIKAWA MODEL

認定事業所の主な取り組み



仕事と生活の “相乗効果”を生み出すのが ワーク・ライフ・バランスです

立川市では、事業所におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進を図ることを目的とした「ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定」を行っています。令和2年度は、仕事と家庭の両立や男女共に働きやすい職場環境づくりの促進に努めている3事業所を認定しました。認定事業所の主な取り組みをご紹介します。

立川市

株式会社ウオールナット



会社概要

住所 : 立川市幸町1-19-13
 事業概要: ドローンや計測ロボットを用いたインフラ
 建造物の調査点検、調査機器の開発
 従業員数: 34名 (男性25名・女性9名)

常に新しいアイデアを取り入れ ニューノーマルな働き方をリードする会社へ

コロナの影響でテレワークが加速していますが、ウオールナットでは15年以上前からテレワークの考え方を取り入れていました。地方の人を積極採用し、遠方にいながら業務に取り組める体制を構築しています。会社の経営理念として「斬新な発想と創意工夫の機動力で社会生活の安全を守り貢献する」を掲げており、ワークライフバランスに対しても様々な工夫をし、既存のやり方にとらわれない方法を常に模索、進化し続けています。



齋藤社長

女性が増えたことで、職場の雰囲気明るくなり、また、仕事の面でも男性社員に的確な指示を出すことで、残業が減り、お互いに好影響が出ています。

社員の声

ウオールナットに入社しはじめてテレワークを経験しました。不安もありましたが、やってみると集中出来、主人も在宅勤務、子供もオンライン授業だった為、家族みんなで昼食を食べる時間が出来ました。キャリアアップ制度が充実しており、業務の幅が広がり自信が持てました。仕事がどこまで終わったかの進捗表を作っており、直接会わなくても引継ぎができるようになっていなど、属人化しない体制が整っています。



推進担当者の有泉さん



吉岡さん

自由度の高い働き方を取り入れた当初は、不公平感を持つ従業員もいましたが、会社として大々的に発表・説明をしトップダウンで取り組みを進めていった結果、皆が理解をし、柔軟な働き方をするようになりました。もちろん公共事業のため、緊急で呼ばれることもあります。が振替休日などを使って上手にワークライフバランスを取っています。

取り組みや制度

- 在宅勤務、モバイル勤務が可能なテレワーク制度
- 様々な資格取得を推進・サポート
- コロナ抗体検査を月に一度、全員受診 (会社全額負担)
- 専属トレーナーが週1回来社、マッサージを提供 (会社半額負担)
- 旅行クラブ...毎年国内外へ旅行 (会社全額負担)
- 社内にBGMを流しリラックス効果
- 授乳室・ベビーベッド完備
- TOKYO働き方改革宣言企業
- 「健康優良企業」として認定

ワーク・ライフ・バランスの取り組み具体例

- 育児・介護休業や看護・介護休暇等の「休暇・休業制度の整備」
- 残業抑制政策や短時間勤務制度、フレックスタイム制度等の「働く時間の見直し」
- 在宅勤務、サテライトオフィス等の「働く場所の見直し」
- 結婚・出産で退職した女性の再雇用やパート等から正社員への転換制度等の「働くスタイルを選択できる制度の整備」
- 結婚・出産等のライフイベントを考慮に入れたキャリア目標設定、研修・情報提供・ロールモデルの提示、メンター制度等の「キャリア・ライフプランニング支援」
- 保育サービス費用補助・事業所内保育所整備、介護関連費用補助、自己啓発費用補助等の「経済的支援」など

立川市はワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を応援しています！

ニーズの多様化や経済のグローバル化が進むなど、社会経済の情勢変化のスピードは速く、変化に機敏に対応する力がないと企業は生き残っていきません。少子高齢化の影響で、中長期的に見ると若年労働者が不足し、労働人口は確実に減少します。働きながら育児をする人、親の介護を担う人も多くなっています。また、共働き家庭が増え、家庭や地域での役割を担いながら働く人が増えています。企業が変化への適応力を蓄え、持続的に成長していくためには、女性・高齢者を含め多様な人材を積極的に活かし、戦力としていくことが必要です。その手段として有効なのがワーク・ライフ・バランスを基本に据えた企業戦略なのです。

株式会社オカムラ 立川支店



会社概要

住所 : 立川市曙町2-34-7
 ファーレーストビル2階
 事業概要: 産業用製品事業・生活用品事業
 従業員数: 11名 (男性8名・女性3名)

取り組みや制度

- ファミレスブース完備 (ファミレスのようなくつろぎ環境で業務効率アップ)
- 他拠点でも自由に就業が可能
- パラエティに富んだeラーニングでの学習機会の提供
- カエルボードで帰る時間を掲示
- すべての役員・従業員を対象にLGBTについての研修を実施
- ノー残業デー
- フレックスタイム制度
- 時間単位有給休暇制度
- 託児サービス費用の補助

やってみたらできた！ 成功体験が働き方改革を加速させる



住吉支店長

社長がリーダーとなり、トップダウンで働き方改革の取り組みが進められてきましたが、オカムラの各支店で行われた優れた取り組みは、タイムリーに他の支店にも水平展開するなど、ボトムアップの取り組みも同時に進めています。部下から意見が出たときには、その芽を摘むことなく育てていくことなどを、支店長研修を受け上層部が徹底しており、上下間で意見の言いやすい風土が醸成されています。規模が小さいので、最初は残業を減らしたり、休みを増やしたりすることができるかという不安もありましたが、こまめなミーティングを増やし、上司から若手へアドバイスしていくことで、業務効率が徐々に上がってきました。

若手層は休みを取ることに抵抗がない人が増えてきた一方で、上層部はまだまだ取得しづらいという状況がありましたが、トップダウンで、上層部には売上・利益と同じように有休取得の目標が加わり、上層部やベテラン社員も取得率が高くなりました。実際に有休を取得してみても思ったことは、やってみたらできる！ということ。従業員の一人が、有休で旅行中に物件トラブルが発生した際も、ICTを活用し連絡を取り合い、連携して乗り越えることが出来ました。やったらできる、成功体験がますます働き方改革を加速させていくと感じています。



各支店完備のファミレスブース

社員の声

週一回の在宅勤務では、事務処理をまとめてするようにしています。周りの方に話しかけられたり、外線電話を取ることもないので、とても集中できています。5歳と11歳の子がいますが、今までは、平日一緒に食事することなどなかったのですが、一緒に食事をする時間も出来、子供も喜んでます。自分は取得しませんが、男性の育児休暇も取りやすい環境だと感じています。



小川さん

過去の認定事業所紹介

- ・富士ゼロックス多摩株式会社
- ・医療法人財団 立川中央病院
- ・国家公務員共済組合連合会 立川病院
- ・株式会社アドックインターナショナル
- ・社会医療法人社団健生会 立川相互病院
- ・株式会社コスモ・インテリジェンス
- ・株式会社エーウイング
- ・株式会社シーズプレイス
- ・東洋システム株式会社
- ・東京海上日動火災保険株式会社 西東京支店 立川支店
- ・株式会社東京海上日動パートナーズTOKIO 西東京支店
- ・株式会社自然教育研究センター
- ・第一生命保険株式会社 立川支社
- ・中村建設株式会社
- ・株式会社立飛ホールディングス
- ・株式会社コスモ・インテリジェンス
- ・株式会社エーウイング
- ・株式会社シーズプレイス
- ・東洋システム株式会社
- ・東京海上日動火災保険株式会社 西東京支店 立川支店
- ・株式会社東京海上日動パートナーズTOKIO 西東京支店

